

SPODフォーラム
2011. 8. 24. 10:00~12:00

大人数講義法の基本

愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室長

小 林 直 人

Naoto KOBAYASHI

1. プレテスト

**配布資料1ページ目
下半分の「○×問題」
を解いてください。**

1. 本日のメニュー

1. イントロダクション

プレテスト

本日のメニューとキーワード

本日の目的・目標

よい授業とは？

2. グループ・ワーク

3. 休憩と質疑応答

4. 「講義スキル」

「学生とのコミュニケーション」

5. まとめとアセスメント



1. 本日のキーワード

キーワードを
明確にする

1. 本日の目標

大人数講義をするときに
注意すべき講義スキルを
参加型授業を通して習得し、

習得したことを自分の
講義に生かすことができる。

1. 本日の目的

「**学生中心の大学**」の実現の
ために“**良い**”講義ができる
ようになる。

1. よい講義とは？

「学生中心の大学」の実現のために
“良い”講義ができるようになる。

⇒ “よい”講義とは？

1. よい講義とは？

「学生中心の大学」の実現のために
“良い”講義ができるようになる。

⇒ “よい”講義とは？

わかりやすい講義
知的な緊張感のある講義
学生が参加する(した気にさせる)講義

2. グループ・ワーク

『“その講義のキーワード”を学生に
“実感”させるにはどうしたらよいか』

- ・文殊カードを使ってみましょう。
- ・5分間のグループワークの後、
成果を2分間発表してください。

休憩

休憩時間です。

**休憩時間の後で質疑応答の
時間を取ります。**

3. 質疑応答

質疑応答の時間です。

3. 質疑応答＋@

質疑応答の時間です。

**私語が出やすいタイミング
とは？**

3. 質疑応答＋@

私語が出やすいタイミング
とは？

⇔ 学生が講義についてこれ
なくなったのではないか？

3. 質疑応答＋@

学生が講義についてこれな
くなったのではないか？

- ・聞き取れなかった？
 - ・板書が見え/読めなかった？
 - ・話の流れから取り残された？
- 今は、教科書/プリントのどこ？

3. 質疑応答＋@

私語を防ぎたい！

⇒ 講義スキルをみかくことで
私語を防止できないか！？

4. 講義スキル

板書(黒板/白板、OHC/OHP)

一文字の大きさ
書いてゆく速さ
書いてゆく向き
消さないでおく

4. 講義スキル

プリント(ハンドアウト、レジメ、配布物)

重要な用語や項目を
難解な用語等は必ず
文章での説明も必要
図表に番号をつける
話す順番に配置する
いつ配布すべきか？

4. 学生とのコミュニケーション

口頭によるコミュニケーション

学生に質問する

コミュニケーション・カード
クリッカー

Think, Pair, Share !

小グループワーク

4. 学生とのコミュニケーション

文書によるコミュニケーション

プレテスト/ポストテスト

小テスト

ミニ・レポート

○×クイズ

5. まとめ

講義の3つの要素(小林)

- 1) コンテンツ 「何を？」
- 2) スキル 「どう？」
- 3) タレント 「誰が？」

5. まとめ

キーワードを明確にする

私語を防ぐ

⇔私語の出やすい状況は？

⇒講義スキル↑で防止する

5. ポストテスト

**配布資料3ページ目
「記述問題」を解いて
ください。**

5. ポストテスト

**配布資料3ページ目
「記述問題」を解いて
ください。**

“解答例”もおつけしました。

おわりに

お疲れさまでした。
ご質問・ご意見は下記までお願いします。

naoto@m.ehime-u.ac.jp

